高田川新聞

2018年2月26日
発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲　三月場所
平成30年 3月11日より
15日間
於 エディオンアリーナ大阪
（大阪府立体育会館）

高田川部屋
三月場所　大阪道場
東大阪市御厨栄町1-4-4
ＴＴＳセンター

高田川部屋では、15歳から22歳までの力士を目指す若者を随時募集しております。

竜電　新入幕で敢闘賞

竜電　初の二桁十勝

平成三十年の初場所は、横綱二人が途中休場する中、初日から十連勝と一人気を吐いた横綱・鶴竜が終盤まさかの失速。抜け出したのは、一時は怪我で幕下下位まで落ちた栃ノ心で、六年ぶりの平幕優勝で土俵を沸かせた。また、栃ノ心とほぼ同じ頃、こちらは幕下どころか序ノ口にまで落ちた竜電が新入幕の場所を関取となって初となる二桁勝利を飾り、現・高田川親方の下で初となる三賞の敢闘賞を受賞。また、輝も負けじと四場所ぶりに勝ち越し九勝。部屋全体も十八名中、十二名が勝ち越しと、幸先のよいすべり出しとなった。

まさに有言実行だった。竜電が関取に返り咲いて八場所目。十両でも達成することができなかった二桁勝利と三賞を口にして新入幕の初場所に臨んだ。初戦を白星で飾って万全のすべり出しに思われたのもつかの間。二日目に苦手の大奄美戦を落としてから三連敗。雲行きが怪しくなり始めた。昨年末には待望の後援会が地元・山梨で発足し、場所前に地元での盛大な新入幕祝賀会も執り行われた。三十年ぶりの山梨出身幕内力士。マスコミにも数多く取り上げられ、地元では大フィーバー。もうすごすご負け続けるわけにはいかなかった。「自分は挑戦者だ。それに稽古も十二分にやっている。自信を持て」。自らを奮い立たせ、相手の得意な体勢にさせないよう先手先手で攻め続けた。すると四連勝。後半戦も攻めとしぶとい相撲で五連勝して終わってみれば自身初の十勝到達。初の敢闘賞もぎ取った。特に十三日目の宝富士との一戦では竜電の実力が証明された。初となる幕内後半戦の取組で、腰の重い実力者相手にしのいでしのいで頭をつけ、最後は攻め続けて寄り切った。師匠の現役時代と同じ黒いまわしとリズミカルな動きで肩に力を入れ過ぎない仕切りの竜電が大阪場所でも相手を攻め続けてくれるに違いない。

輝　四場所ぶりの勝ち越し

輝も今年は白星スタート。四日目を終わって三勝一敗と好調に思えた。しかし、そこからは攻めながらも隙をつかれて三連敗。あっという間に星がひっくり返る。兄弟子で新入幕の竜電が調子を出し始め、遅れはとれない。中日、朝乃山を突き押しから差しながら前に攻めて上手投げで破った。輝にはめずらしい決まり手だが、絶対勝ってやる、そういう強い気持ちが攻め続ける姿に表れていた。そこから四連勝し、勝ち越しに王手。しかし、分のよかった錦木にまわしを取られ、勝ち越しはお預け。十三日目、ずっと勝てなかったしつこい相撲の千代翔馬に、恐がらず前に前に攻める輝に軍配が上がって、四場所ぶりの勝ち越し。千秋楽、正代にも勝って九勝。初場所では幕内二桁勝利と三賞を後から追ってきた兄弟子に先を越されてしまったが、「三役だけは先に上がる」という、強い思いを胸に輝は大阪場所の土俵に上がる。

白鷹山　十両へ大詰め

幕下十五枚目以内三力士の戦績は三者三様となった。自己最高位、しかも幕下上位で三連勝スタートの湘南乃海。注目力士としても取り上げられ、勢いそのままの快進撃。しかし、一番の難関と言われる幕下上位では小さなつまづきから流れが変わる。勝ち越しを賭けた矢後戦に敗れ、次の霭林戦で同体取り直しの後から微妙なズレが生じて四連敗。三連勝の後の四連敗は一番悔しい負け越し。安芸の花は、初戦の芝戦でおしい相撲を落とした後から叩く悪癖が出始め、焦れば焦る程、また悪い相撲で一勝止まり。二人とも好調をキープしていただけに悔やまれる場所となった。

白鷹山は三連勝の湘南乃海に刺激を受けてか、中盤三連勝してあっさりと勝ち越しを決めた。肝心の残り二番。出羽疾風には黒星を喫したが、最終の鏡桜にはしっかり勝って関取経験者に一勝一敗とした。初場所は稀にみる十両と幕下上位との入れ替え場所。白鷹山ももう一勝していれば十両昇進の可能性もあったが、相撲の神様は真の実力をもう一場所試すつもりのようだ。さあ、関取をかけた大阪決戦。白鷹山の真価を見せてもらおう。

勝ち越した中では、大野城が三場所、大乗が二場所連続で再幕下を狙う。また、下位の櫻、前乃富士、前大将が六勝、五勝、五勝と大勝し、前相撲全敗だった天恵も初勝利から勝ち越した。春場所からは新弟子二人も加わり、春の訪れとともに部屋全体に活気が溢れてきた。

<ご当地力士紹介>
大阪府松原市出身の櫻です。部屋のOBのちゃんこ屋さんでバイトしていたことがきっかけで入門しました。
得意の左まわしを取っての上手投げで、最高位更新と三段目昇進目指します。
応援よろしくお願いします。
本名：坂原 正行（昭和61年10月17日生）

<トピックス>
竜電幕内昇進及び初場所千秋楽祝賀会が、1月28日の場所終了後にホテルニューオータニ東京で開催されました。中川環境大臣や竜電の地元市長、後援会長ら400名近い来賓・後援者の皆様にお集まりいただき盛会となりました。
竜電が新入幕で10勝、初の敢闘賞も受賞し自らの祝宴に花を添えました。

幕内	輝	先場所 9勝6敗	○○●○●●● ○○○●●○
〃	竜電	先場所 10勝5敗	○●●●○○○ ●○○○○●
幕下	白鷹山	先場所 5勝2敗	○●○○○●
〃	湘南乃海	先場所 3勝4敗	○○○●●●
〃	安芸の花	先場所 1勝6敗	●●●●○●●
〃	安芸乃山	先場所 3勝4敗	●○●●○○●
三段目	大野城	先場所 4勝3敗	○○●○●○●
〃	大乗	先場所 5勝2敗	○●○○○●
〃	暁	先場所 2勝4敗1休	●●○○●や
〃	大雷童	先場所 4勝3敗	○●○●○○●
〃	恵比寿丸	先場所 2勝5敗	●●○●○●●
〃	須磨ノ海	先場所 4勝3敗	○●○●●○○
〃	勝武士	先場所 2勝5敗	●●○●●●○
〃	剛力山	先場所 4勝3敗	●○○●○●○
〃	前乃富士	先場所 5勝2敗	●○○○○●●
序二段	櫻	先場所 6勝1敗	○○○●○○○
〃	前大将	先場所 5勝2敗	○●○○●○○
〃	天恵	先場所 4勝3敗	○●○○●●○
新加入	池田	今場所 前相撲	○●○○●●○
〃	髙原	今場所 前相撲	

※表記の番附は正式発表前の予想

九勝はできたが、まだ勝てる相撲があった。力はついてきていると思うので、腰を下ろしてより厳しく攻めていきたい。春場所では二桁勝って年内に三役に上がりたい。

初場所は先手先手で攻めることができて目標の二桁勝利ができた。稽古をしっかりして春場所も自信を持って挑戦者のつもりでもっと立ち合い素早く攻めまくりたい。

初場所から五勝と、勢いよくよいスタートが切れた。この勢いのまま十両まで一気に駆け上がっていきたい。

気持ちの弱さが出て、まだ足りないものだらけだと自覚した。しっかりとした芯ができるよう死ぬほど稽古する。

押し込んだ後に叩く悪い癖が出て、それがそのまま悪い結果になった。もっと基礎をやり攻め方を考え直したい。

二場所続けて三勝と物足りない結果になってしまった。前に攻める意識を強く持って大阪では暴れたい。

勝ち越せたが最後の一番に勝てず悔しい。立ち合いから素早くまわしを取る相撲で一番でも多く勝ちたい。

五勝すべて前に出て中に入る相撲で勝てた。気持ちを引き締め、常に中に素早く入り前に出る相撲を心がけたい。

最高位近くで終盤悪い体勢のまま残って怪我したことが悔やまれる。復帰できるまで気持ちを切らさず頑張りたい。

勝ち越すことはできたが気持ちの弱さが出て四勝止まり。ケガをしない体作りと考えた稽古をして次も勝ち越したい。

先場所は思うように相撲を取らせてもらえなかった。地元場所でもあるので強い気持ちで勝ち越し以上を狙いたい。

土俵際で粘って勝って初場所から勝ち越せてよかった。立ち合い弾いて中に入り、ご当所で優勝目指して頑張りたい。

自分の相撲がバラバラだったが少しはよい所も出た。自分に必要なものをよく考え、前だけを見て稽古に取り組む。

両膝の治療で力が入るようになり三場所ぶりに勝ち越せた。より下から先に先に攻めて、続けて勝ち越したい。

初場所では自分の思う相撲が少しは取れて五勝できた。基本を忘れずに自分の相撲を取りきれるよう頑張りたい。

落ち着いて自分の形にできたことで初の六勝。ご当地場所で三段目昇進を決められるよう全力で勝ち越したい。

怪我を恐がらずに前に出ることを意識して相撲が取れた。春場所もこの勢いを止めずに勝ち越したい。

前相撲は全敗だったので勝ち越せてうれしい。今は前から当たることだけ。少しずつ相撲を覚えていきたい。

相撲のダイナミックなところが好きで自ら入門しました。厳しい稽古にも耐え、いい結果が出せるよう頑張ります。

相撲経験もなく体も小さいですが、親方の下で一から相撲を学んで、いつか地元で誇りと言われるよう頑張ります。

三役行司　式守勘太夫の目

初場所の千秋楽祝賀会と合わせて行われた竜電の幕内昇進祝賀会は敢闘賞獲得で大いに盛り上がった。竜電は新入幕の緊張と耐え難いプレッシャーの中、さすがに黒星先行のスタートとなった。その中でも注目したのは朝乃山との一番。バランスを崩して変な負け方と見る者は多いだろう。しかし、本人は「誘い込まれてしまった」と分析していた。それを聞いた瞬間、まき返して勝ち越しできると確信した。

普通なら悪い負け方に落ち込み、負の連鎖か始まるところだが自分がどうあるべきかをしっかり見つめ直していた。勢いよく中に入り、相手の重心をしっかり浮かして寄り切るという勝利の方程式を竜電は完成しつつある。

湘南乃海が強くなったことが大きく白鷹山に影響を与えている。五勝でもう一番勝てば十両に上がっていた。稀に見る十両昇進ボーナス場所を逃したが、ひと腰入れる相撲を覚えれば次は楽に昇進できる。

高田川親方の喝！

竜電が部屋で初めてとなる三賞の敢闘賞。二桁、三賞を狙えと言ったが本当となったことは喜ばしい。初日勝ってから三連敗。そこで自分のどこが弱いか負けから学んで、その後はスピードのあるよい相撲になった。ただ一つ、最後の一番に負けたことがいけない。人生を左右する一番もあるのだから。

輝は着実に力がついてきているが、立ち合いからすぐ膝、体が伸びる癖が出ていた。今の位置だから九勝できたが、上では勝てない。そこを修正していければ三役になれる。

白鷹山もやる気が出てきた。今場所は間違いなく関取に上がってくれるだろう。他にも関取になれる者がゴロゴロいる。若い衆も欲を出してやってもらいたい。それには、まだまだ稽古が足らん！

<ご案内>

高田川部屋 激励会
平成30年3月 4日(日)　午後6時 開宴

高田川部屋 千秋楽祝賀会
平成30年3月25日(日) 午後6時半 開宴
※ 会場は両日とも大阪商業大学エステラス（会費制）

各お問い合わせ・お申込み　／　行司　式守勘太夫
電話　090-3215-6524